

刊夕日八十月二十



定価 一紙五銭 一月五拾五銭 郵費五銭  
 廣告料 五銭 十二字 二行 金五拾銭  
 日曜 祭日の 翌日 休刊  
 発行所 常盤毎日新聞社  
 印刷所 常盤毎日新聞印刷株式会社

享樂主義の悲哀を知れ

立花 俊道

一 享樂主義の副産物  
 眼に見るものはレビニー  
 式のもの、耳に聞くもの何  
 々音頭、何々小唄の類、こ  
 れで朗かにならうとし、明  
 るい賑やかな気分を持たうと  
 して居るのが吾々現代人だ  
 である。一昨年であつたが、  
 昔戀しい銀座の柳といふ歌  
 が出来て、一時すばらしい  
 勢で流行したことはお互に  
 承知の通りである。銀座の  
 柳も盛んに歌はれその音頭  
 に合せて作つた歌も同様に  
 盛んに歌はれたが、今では  
 この歌も譜も殆ど聞か所で  
 なく、今日では何々音頭、  
 櫻音頭、東京其句といつた  
 やうなものが盛んのやうで  
 ある。これもしかし次第に  
 廢れ、又他のものが出来て  
 これに代つてゐるのである  
 享樂主義は世の中を明る  
 くし明かにするために或程  
 度に必要は必要だがそれに  
 は必ずしもしからざる副産  
 物の伴いて來ることを忘れ  
 てはならない。

を覺える程度が地味の氣持  
 の人から見ると、よほど大  
 きいと思ふ。だからその  
 享樂を次から次へと續けて  
 行きたい、酒精中毒に罹か  
 つた人は絶えず酒に酔つて  
 居たがる酒の氣がなくなる  
 と元氣がなくなり意氣消沈  
 して側の見る目も氣の毒な  
 ほどしよげてる酒の氣があ  
 る間は普通人に幾層倍して  
 元氣のあるくせに、それが  
 なくなると、すつかりしよ  
 げて返つて別人の觀あるほ  
 どになる。享樂主義の人享  
 樂に人生の意義を探らんと  
 して居る人も私はこれに似  
 た所があると思ふ。享樂を

て出た刹那に死を思ふのが  
 普通であらう。前の大元氣  
 上機嫌に比して後の無氣力  
 意氣消沈は實に著しき對照  
 であるが、これは畢竟享樂  
 主義に生きようとした結果  
 明らに朗らかさがなければ  
 レビニーや音頭かなければ  
 外から絶えずし載し元氣づ  
 けてくれる何物かがなければ  
 ば、生きて行けない、生き  
 効のない思ふするやうにな  
 つた爲めでこれには今少し  
 反省の力を養成し、内的に  
 反省して内的生活を樂しむ  
 精神を持つ必要があるかと  
 思はれる。

即ち酒は全く禁ずるの必  
 要はあるまい或る程度まで  
 はそれは飲むことも宜しい  
 であらう。しかし酒なしで  
 は如何しても仕事が出来な  
 いか、生きて行けないとい  
 かいふのではなく無ければ  
 無して通し得るの精神の修  
 養を平生心得ておくべき必  
 要があるといふのである。

一册の代金で  
 御希望通りな  
 五册の雑誌が  
 自由に讀める  
 川崎 同文庫  
 電話六三〇番

時代の要求  
 皆様の足?  
 尼子タクシーへも豆タクが入  
 りました  
 御立關から立關へ 迅速簡便  
 是非御利用を  
 市内 三〇銭  
 市外 四割引  
 流線型セダン  
 大型貸切バス  
 宮行—直通は二丁目尼子自動車部よ  
 り發車いたします  
 平町二丁目  
 尼子自動車商會  
 電話六四〇番

室内を改造して  
 石川の食堂...開始 致しました  
 何卒御愛顧の程を.....  
 食堂献立  
 牛なべ 御一人前 三十銭  
 御飯 新香つき 十銭  
 上酒 一本 三十銭  
 特製石川の牛丼 二十銭  
 外御好みに依り調製仕り候  
 女中御心付け御辭退致し候  
 ドーゾ氣分の良い食堂で御手軽に  
 御家族同伴の上御試食下さいませ  
 忘年会、新年會、會合は  
 特に御相談に應じます  
 牛肉御料理 石川亭  
 電話四三番

耳鼻咽喉科専門  
 平田町(電話六九一番)  
 病室完備  
 自炊便有  
 山内醫院  
 醫學士 山内亨 吉

平岡詔  
 レストラン  
 電話524

正確な眼鏡は  
 平町二丁目  
 根本時計店へ  
 ▲最新型眼鏡各種レンズ  
 豊富に取揃へてあります  
 (金銀高價買入)  
 難波 睦  
 醫學博士  
 看護婦募集  
 平町大町新川端  
 電話五〇二

### 第三校運動場問題

## 妥協—不承諾地主に

## 土地收容法適要?

## 数度の交渉遂に水泡に期す

第三小学校運動場擴張敷地買収委員会は昨十七日午後一時より町會議室で行はれた。既報の如く町側の買収價格坪三圓に對して平町諸橋國松、酒井常吉、長谷川浩太郎、山下陽明の四地主は五圓説を持して譲らず去る十四日平町の申請で縣の齊藤屬來平の際も該地調査と同時に地主

側と懇談する處あつたが纏まるに至らず歸福、中間價格四圓の妥協案も縣から提示されてゐたが結局不承諾地主との妥協なく既定方針通り土地收容法の適用を協議各委員の諍意を見て散會、結果前記四地主に對しては愈々收容法の適用を見ることは時の問題となつた

## 受檢願ひ續出 新米出廻る

平町の小賣白米は 新米に押されて値下

平地方の新米出廻りは最近の天候不順が祟つて例年より二週間は遅れて居るので平穀物検査所管内の新米生産検査数は非常に少なかつたが最近漸く出廻り順調となり同所昨十七日までの検査数は二千四百二十九俵昨年同期の約半數に達し今後は新米の受檢願が續出する模様となつたので平穀物組

合では此の程市内の小賣商相場を五錢宛値下した

### 擴張計畫案の

### 豊間漁港

三ヶ年計劃工費十三萬六千五百圓で過般竣工した豊間漁港はまだ完成するに至らず港内は流砂の爲め入港難

## 火力發電所誘致 小名で猛運動

## 町議連出福陳情開始

過般の縣會に於て小名濱町が釜石港並に鹽釜港と共に火力發電所設置の候補地として決定された事は既報の如くであるが之が設置の實現を期すべく小名濱町では今十八日岡山、小濱、藤社野崎、高木、國井、福尾の七町議が大舉出縣目下出福中の小野縣議と共に知事始各關係者に陳情運動を開始した

### 修養力行週間

平刑務所で實施する修養力行週間は十六日より廿日まで收容者に行ふ修養力行週間要點左の如くである  
△十二月十七日(清潔日)

### 平第二校 國語研究

平第二小國語研究會は今日午後二時半より國語研究會を開いたが研究發表者は同校訓導清野兵衛橋本正夫の兩氏であつた

### 學務委員表彰

濱町は昨十七日前學務委員野崎昇太郎、馬上兵吉、小松重兵衛、佐伯三郎、丹野寛平、堀越善六の六氏に對し多年教育施設經營に盡瘁し功勞顯著なるものとして腕時計各一個を贈り表彰した

### 健康相談デー

三小學校は今十一日は健康相談日なご根本校醫が全生徒の診斷を行ひ各學級毎に衛生講話を行つた  
自動車標示板 植田自動車協會では事故防止の爲め國縣道のカーブ二十餘ヶ所に十六日危険標示板を建てた

## ガソリン前奏曲

## 平驛の調査

先づ車庫と信號機 明春早々着工か  
明年より實施される平驛を中心としたガソリンカー運轉に就いては目下水戸運輸事務所種々調査中である  
平驛ではガソリン車運轉に最も必要な車庫並に信號機二臺を先づ第一に構内設備されたいと申請した

が明年一月早々着工される模様である

### 大浦聯合査閲

大浦聯合の青年學校訓練査閲は十五日永野小佐執行官のもとに行はれる

### 平町人事

出生 出  
△四丁目三 三井四郎氏四男幸四郎さん  
△鎌田町五六 武藤喜悅氏二女昭子さん  
回死 亡  
△立町六 大島勇八さん(四六)  
△材木町三九 當時新潟縣北蒲原郡乙村大字乙ノ十六川崎市郎(四八)

美味!  
芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番



玉屋洋品店  
平町田町通電話六五六番

ほねのこ  
桑原柔道整骨院  
平町園下電話六七四

# 若い一農夫の至誠

## 村の紛糾解決

### 作業所設置を契機として

### 好間愛谷部落で圓滿協力

混亂と紛糾の部落を更生の第一歩に轉向させた快ニュース—好間村大字愛谷部落は從來部落民の和半全くなく自治方面にも何等協力見づ昭和十年も終りを告げる現在未だに電燈もなき程であつたが、今回同部落に共同作業場設置に就いて豫て部落民の協力なきを憂慮した同部落の石城中堅農民生勝沼勝應(三)氏は先祖傳來の畑地約五十坪を無償で敷地に寄附を申出た爲め紛糾

の事態にあつた同問題も部落識者を動かすところとなり協議の結果救済事業等に依つて醸成しあつた部落費千五百圓を投ずることに決定、工事竣功を俟つて脱穀機、モミ摺機、製米機、發動機を購入、昨十七日試運転を行つたが好調子であつた、この結果永年抗争を見つた同部落も之を契機として和平の一途を赴ることになり青年勝沼氏は部落民から感謝されてゐる

## 芥箱の凍死男

### 精神病者と判明

### 鹿島村の氣の毒な才父さん

平野前世界館側塵芥箱中へ去る十五日凍死した變死体に就いては平野で各地に身元照會中の處此の男は鹿島村大字御代字久友田農義光實父佐原八郎(五)と云ひ豫て精神病者で監視中家人の隙を窺ひ去る十二日午後六時頃家出し空腹と疲労の末凍死したものと判明

**平署員表彰** 平署左記警官は夫々窃盜犯人檢舉の功に依り昨十七日伊藤知事より金一封を添へて表彰された

△窃盜及業務上横領犯人 清原吉之助(大谷次男) 草野高志 安藤八百吉 鈴木恒雄 渡邊温 鈴木直(窃盜犯人阿部力(草野高志 大谷次男 安藤

## 天候不順! 雪腐病の恐れ

### 神谷農試警告

石城地方は去る十日の降雪以前の氣温は昨年と比較して著しく温かいので郡下各地の小麥は徒らに莖葉の伸長を見せその結果赤錆病發生の狀態にあつたが今回の降雪に依つて今度は雪腐病の發生の恐れありと神谷農事試験分場では一般農家に警告を發し豫防法として三斗式石炭ボルドー液を反當り一石内外莖葉に撒布するものである

## 歳末哀話

### 盲目老夫婦が

娘を桂庵に喰はる。平町月見町七番地按摩業大鹽吉之助(七)と妻は(六)とは共に盲目で殊に老衰から稼業が出来ず生活に困るところから本年四月同町大町田久要吉の斡旋で一入娘のはる子(一)假名を前借四



今日も明日も北西の風晴曇半す

## 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間 兒童劇「子供は可愛かられる」仙臺東二番丁小學兒童

後六、二五 基礎英語講座 岡倉由三郎

後七、三〇 講演「昭和十年の展望」科學界 加茂正雄

百圓で東京洲崎遊廓の娼妓に賣つたが田久はそのうち百圓を勝手に消費して返済しないため吉之助は此程平署に取返してもらひたいと泣きこんだ

## 師走が生む犯罪

## 横領窃盜叢出

### 平署に指命自轉車泥も

### 含むむ夥しい搜索願

愈々歳末期になつて忙しいのに連れて兎角犯罪は例年多くなるが今年も亦例にもれず夥しい犯罪の叢出で平署は来る廿一日からの歳末警戒を前に大繁忙を極めてゐる

北會津郡湊村大字共和生大竹武之助(四)は耶馬郡沼尻村大堀醬油店に雇はれ中主人の金十五圓餘を横領外現金卅圓を借り受けたまゝ逃走行方を晦ましたので本十八日主人から平署へ捜査願あつた

## 歳末書人の不良行者一掃

### 平署嚴重に内偵

平署では歳末から新春にかけて横行するインチキ運勢(代繁世)は去る十三日午

講座 武内大造

前七、三〇 朝の「イ」エスの宗教(二)石橋智信

前九、〇〇 衛生メモ

前〇、三〇 母の時間

一期診断「春田有道

後〇、〇五 木曜コンサート

獨唱と管絃樂 佐藤はる 寶塚オーケストラ

後二、三〇 小學生の時間

尋四國語と唱歌「餅つき」大阪小路小學校兒童

後二、四〇 小學生の時間

尋五理科對話「ガソリン

自轉車ドロ 勿來町大日本炭礦坑夫矢野吾一(三)は去る十二月十二日午前八時頃泉村大字泉字本屋敷地内鈴木重二方から自轉車一臺價格(四十五圓)を窃取逃走植田署から本日平署へ指名手配あつた

郡南に多い 養狸事業獎勵

植田で座談會

郡下の野狸生棲地として有名な植田町附近では目下飼育者廿戸約白頭一達し相場も最高二百圓内外と云ふ高値なので將々農家副業として獎勵する爲め近く植田町で關係者が座談會を開く

## 郡南に多い

### 養狸事業獎勵

植田で座談會

郡下の野狸生棲地として有名な植田町附近では目下飼育者廿戸約白頭一達し相場も最高二百圓内外と云ふ高値なので將々農家副業として獎勵する爲め近く植田町で關係者が座談會を開く

平職業紹介所報告

回 人を求める方

△女中 廿才前後 年給八十圓

△トラック助手 廿才前後 月給十圓

△運送店員 卅才迄 日給七十錢

回 職を求める方

△集金人 卅四才 中三修

△商店員 廿四才 高卒

△料理人 卅五才 尋卒

△鐵工 十八才 尋卒

△同 十七才 高卒

## 上田病院

平町 南町 電話一二九番



# 解る瓦解る

(著上原)

悟道軒圓玉(作)  
丸尾至陽(書)



八 お花の身の上

櫻屋のお花は高木周藏の

いふことを聞いて

花「高木さん、あなたは口説き上手だね」

周「おほめにあづかつて恐縮の至り、何うだねお花さん、ヒュースケンの世話を

花「あの異人さんはアメリカの人だね」

周「イヤ、アメリカの公使の通譯かた、代理を勤めてゐるが、生れは和蘭陀のアムステルダムさ」

花「オヤまあ妙なところで生れましたね」

周「妙なところといふ土地はあるまい、和蘭陀の都で生れて日本でいへば夕づ江戸ッ子だね」

花「何歳になるの」

周「さうさ千八百三十二年生れと聞いたが今年は二十九か三十であらうな」

花「あら、異人さんに平があるの」

周「馬鹿なことをいひな

んな、和蘭陀人だとて年はある、どうだね應と色よい返事をしてくれるか、それとも厭か」

刺青をしてそれでその男に操を立てたとは、一休それは何りいふわけだね」



も病ふほど想つてくれることは有難いことですが、あの人の世話をすることにしたところまでまかせること

はありませんが、わたしにはいひかへした男があるんですよ、その人に操を立てるために女だてらに大それた體に刺青までしたんです

周「それは、悪なことを聞くものだ、男の名を腕にするものはあるが、體に櫻の

刺青をしてそれでその男に操を立てたとは、一休それは何りいふわけだね」

周「まア高木さん聞いてください、今御老中を勤めてお在になる安藤様がこの淺草の傳法院へお詣りにお出でなすつた時に、わたしを

見是非お妾にしたいと土地の顔役を以ていひ込んで來ましたわがわたしにいひ交した男もあり、お妾に上つてはその人の顔に泥を塗つたと同じこと、しかし妾の兄が慾に目が眩み御奉公に上れさうすればお前の出世

花「わたしとても腹から卑しいものではございませぬ親父はお鳥見の御家人で土井嘉兵衛と申し、小祿ではございませぬが、公方様のお直參なんです、その親父がなくなり、續いて母も世を去り、家督をした兄の定次郎が放蕩でございまして

お役は勤めて居りますが、病氣を申立てに勤めにも出ず、諸方の賭場を渡り歩いては妾奉公を破談にするが目的で刺青をしたかの」

と云つたがお花はホロリ涙にこぼした。

## 福祿ストロブ福引

### 景品付大賣出し

景品總額五萬圓  
期間昭和十年九月廿五日ヨリ十二月十二日マデ  
賣出規定

福引券 ストロブ御買上ノ方ニ左ノ割合リテ

- フクロク 一號 大衆(中型)寶(大小)各一本ニ付一枚
- フクロク 二號 大衆(大型) 各一本ニ付二枚
- フクロク 三號 各一本ニ付三枚
- フクロク 四號 各一本ニ付四枚

抽籤發表 昭和十一年二月十一日東京朝日新聞發表致シマス。

景品引換 昭和十一年二月十五日ヨリ四月十五日迄福引券引換ニ最寄ノ代理店ニテ景品ト引換致シマス

- 景品 福引券一千枚ヲ以テ一組トシ當選ノ方ハ左ノ景品ヲ差上グ
- 一等 百圓
- 二等 參拾圓
- 三等 拾圓
- 四等 五圓
- 等外特製福祿便箋 空籤ナシ

平町五丁目 釜屋商店 阿部石炭商店

干ヤナギ 賣り始めました

節 鯉 鹽 辛

平土橋

丸仙鮮魚店

電話六六二番